

第 112 定時総会

2022 年(令和 4 年)度

自 2021 年 12 月 1 日 至 2022 年 11 月 30 日

- ・ 事業活動報告
- ・ 会計収支決算 (案) 余剰金処分 (案)



2023年2月25日(土)

会場： 日本聖公会東京教区会館 3階会議室
東京都港区芝公園 3-6-18

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

第 112 総会次第

2023 年 2 月 25 日 (土)

港区芝公園 3 - 6 - 18 東京教区会館 3 階会議室

13 : 00 評議員会
14 : 00 理事会
15 : 00 第 112 総会

司会進行：(木島出理事)

- I. 開会祈祷： 本部チャプレン
 - II. 総会成立定数の確認： 司会進行
 - III. 会長開会挨拶： 会長 足立征三郎
 - IV. 議長選出： 定款第 16 条により「総会の議長は会長がこれにあたる」
 - V. 書記任命： ()
 - VI. 議事録署名人の任命 ()

 - VII. 報告事項
 - 1. 2022 年度 (2021.12.1.~2022.11.30) 事業活動報告

 - VIII. 議事
 - 第 1 号議案：2022 年度 (2021.12.1~2022.11.30) 会計収支決算 (案)
並びに 余剰金処分 (案) 承認の件 (定款第 34 条 第 2 項)

 - X. 閉会祈祷： 本部チャプレン
-

1 報告

2022 年度事業活動報告

自：2021 年 12 月 1 日 至：2022 年 11 月 30 日

響きあう BSA のために

2022 年度事業活動状況は、2020・2021 年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅な活動休止となった。

こうした状況下、2021 年度に長らく発行が途絶えていた信徒叢書を 14 年ぶりに発行出来、2022 年度も引き続き新たな信徒叢書を発行出来ました、嬉しいかぎりです。

また、秋（10/8）には BSA セミナーが開催された。2020 年 10 月、日本聖公会第 65 総会において「日本聖公会法規の一部改正する件」（宣教協働区伝道教区 決議第 11 号）が可決され、11 教区を 3 つの宣教協働区に分け協働関係を深めていくことになった。宣教体制の立て直し、教区の統合や再編が主教会に託された。BSA はそのことへの理解を深めるため、全国的な規模で「BSA セミナー」を ZOOM 方式により開催することが出来た。

その他の事業活動計画については、これまでに実施したものを報告します。

＊（見出しのローマ数字は、2022 年度事業活動計画 に対応している。）

I. キリスト教精神を世に広げる周知・広報活動：

1. 伝道用小冊子「BSA 信徒叢書」発刊

- ・第 22 巻「聖公会 はじめの一步」 司祭市原信太郎著
- ・発刊準備中

西原廉太主教：「キリスト教と科学」（仮）（2022 年度の発行を延期）

2. 機関紙 VISION

機関紙 [VISION] の充実

2022 年度発行

VISION 177 号	2022 年 2 月発行	卷頭言	バルバ	田澤利之司祭
VISION 178 号	2022 年 4 月発行	卷頭言	ステパノ	越山哲也司祭
VISION 179 号	2022 年 7 月発行	卷頭言	マリア・グレイス	笹森田鶴主教
VISION 180 号	2022 年 11 月発行	卷頭言	マルコ	柴本孝夫司祭

◇編集方針

- 1 会員からの寄稿を増やし、参加感を高める努力をした。
具体的には、信仰や礼拝について日頃思っていること、会員として実践していること、コロナで仕事や生活はどう変わったか、BSA 本部への要望など、身近なことを通じて「会員の VISION」づくりに努力した。
- 2 理事会をはじめ BSA の諸活動を伝える情報を増やし、紙面の充実を図った。
- 3 連載物「シリーズ①～⑥宣教協働区・伝道教区制」を掲載した。

4. BSA 案内パンフレット 配布

・BSA への理解・会員勧誘に活用する改訂版「パンフレット」発行 (2022.10.)

5. ホームページの充実

<http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org>

「nssk bsa」検索で閲覧することが出来る。

- ・掲載内容： BSA の歴史・組織概要・役員・支部一覧・活動
信徒叢書一覧・セミナー案内・会員ハンドブック・直近 VISION
総会資料 (報告、事業活動計画、会計収支予算)

6. BSA セミナー

開催日：10月8日(土) 13時からズーム方式で実施した。

参加申込：73件、当日は68人が聴講した。

三光教会、インマヌエル新生教会、横浜聖アンデレ教会、清里聖アンデレ教会、久留米聖公会では、教会に集まって聴講した。

参加者のうち、およそ三分の一が BSA 会員外であった。

テーマ：「教えて！教区はどうなるの？」。

教区再編成計画が進む中で、「自分たちの教区・教会はどうなるのか」という素朴な疑問に答えることを企図した。

講師：管区総主事 エッセイ矢萩新一司祭。

申込者には、事前にレジュメを送付して理解に資するようにした。

- ・今年のセミナーは、2019年以來3年ぶりの開催で、ZOOM方式を初めて採用。1週間前の同じ時間帯にリハーサルを行い、万全を期した。
- ・主たるホスト会場は、管区事務所会議室を使用し、BSA本部事務所を電話対応用として用意。足立会長は、本部から挨拶した。
- ・矢萩総主事は、年表や写真など各種のデータを駆使し、質問にも親切に答えるなど、およそ一時間半の講演は好評であった。

II. 教育事業：

1. BSA 青少年キャンプ (開催休止)
3. BSA 研修ツアー (開催休止)

III. 社会事業：

3. 公益財団法人 KEEP 協会と協働した活動

- 行事・諸活動の企画・実施に当たり、KEEP 協会と協働して活動。
 - ・コロナ禍の中にあつて大きな誤算が生じたキープ協会の収益事業を、機関紙 VISION などを活用し、広くキープ協会の働きを広報して、特に清泉寮を中心とする各施設の利用を推奨する。
 - ・ジャージ牛ファンクラブに法人会員として入会

IV. その他事業：

1. 支部との関係強化による一体感の醸成

コロナ禍の中、環境が整わず、支部との十分な一体化の活動が出来なかった。

(1) 「BSA 本部だより」の発行

支部と本部は車の両輪である。2016 年度から始めた「BSA 本部だより」の充実を図り、情報の共有を通じて、支部と本部の意思の疎通と連携強化に努力した。

- ・1 年を通じ 理事会の様子などを中心に、必要に応じて発行した。
- ・支部に属さない会員への対応を考え、実施した。

34	BSA 本部だより	2/14	12・1・2月号
35	BSA 本部だより	3/7	2月（第110総会）号
36	BSA 本部だより	6/6	4・5月号
37	BSA 本部だより	7/15	6月号
38	BSA 本部だより	8/22	7月号

(2) 支部長会議（未開催）

(3) 支部との懇談会の実施（未開催）

4. 特別委員会

● 委員会設置の経緯

2019年8月理事会において、山積する課題の整理と解決策の提案を行なって、より良き BSA の将来に繋げていくための一助とする期限付きの特別委員会が設置された。委員長は岩間光雄兄、のち松田正人兄。

● 委員会の目的

BSA 会員や理事会などから挙げられた BSA の当面の課題を精査整理し、解決に向けての具体的な方策について十分な検討や協議を行なうこと。また、協議された内容を理事会に報告・上申すること。

● 具体的な活動

第1回（2019.12.28）から第9回（2022.9.3）まで9回の委員会を開催、2022年11月、理事会への提言をまとめて解散した。

● 委員会の活動成果

1. 会員総会や評議員会・理事会などで挙げられた課題・提案などを再検証・整理し、優先的に取り組むべき課題の抽出や、理事会に対する問題提起を行なった。

喫緊の課題として取り組んだものは

- ・賛助会員に限られている女性会員問題、正会員への一本化検討（定款変更）
- ・時代に即した、旧版に代わる新たな BSA パンフレットの作成、配布
- ・BSA 支部のない地域への働きかけ（支部消滅地域・新規開拓とも）
- ・現存支部とのコミュニケーションおよび活動支援の強化策検討、など

2. 成果物として： BSA 新パンフレット製作を理事会に上申し、印刷（新デザイン初版 2,000 部）と配布（支部および個人会員宛）を行なった。
3. 理事会への引継ぎ： 正会員の資格に関する規定など「現定款の一部を変更する」ことの十分な議論、および一般会員への周知説明を通して会員意識の高揚を図り、総会議案提出への更なる検討と準備をすること、また、現支部活動や一般会員の活性化の方策検討、新支部結成戦略の検討など。

5. BSA 創立 100 周年への取り組み

- ・第 105 総会で案内した「創立 100 周年記念事業基本構想」に基づき、2027 年を目指して第 1 期事業に掲げた諸事業に着手し、「気になる BSA」の考え方を確認し、進めている。
- ・アーカイブズ 基礎資料の収集（写真・音声・印刷物など）

V. 総会、役員会

1. 総会

① 第 110 決算定時総会 2022 年 2 月 26 日（土） 於：東京教区会館 3 階

報告： ①2021 年度（2020.12.1.～2021.11.30.）事業報告

議案： ①2021 年度（2020.12.1.～2021.11.30.）会計収支決算・剰余金処分
（案）決議

②役員任期満了に伴い新たに役員（理事 14 名・監事 2 名）選任の件

選任された理事・監事（50 音順）

理事：足立征三郎・尾崎茂雄・木島出・倉辻明男・桑田秋光・
後藤務・島崎敏彦・永井信行・野田徹・萩谷長生・松田正人
松平謙次・湯田啓一・吉松英美
監事：永井惇・早川潔

② 第 111 総会 2022 年 11 月 26 日（土） 於：聖アンデレ主教座聖堂

議案： ①2023 年度（2022.12.1.～2023.11.30.）事業活動計画(案) 決議

②2023.年度（2022.12.1.～2023.11.30.）会計収支予算(案) 決議

2. 理事会

定例理事会を毎月 1 回開催し、定例とは別に複数回の理事会を開催している。

- ・第 110 総会終了後の理事会において、定款第 21 条 2・3 項により
会長・副会長を選任した。

会長 足立征三郎

副会長 尾崎茂雄, 木島 出

- ・理事会メンバーによるアッセンブリー開催（清里・清泉寮）

開催日程： 10 月 11 日（火）～12 日（水）

課題： BSA の諸課題について

3. 評議員会 総会前に招集、開催される。

2022年1月29日(土)第1回評議員会

議案：① 理事候補者7名推薦の件

② 第110総会議案に対し

1号議案：2021年度会計収支決算(案)・余剰金処分(案)
承認の件

2号議案：役員任期満了に伴い新たに役員(理事14名、監
事2名)選任の件。

2022年11月26日(土)第2回評議員会

議案：① 第111総会議案に対し

1号議案：2023年度事業活動計画(案)承認の件

2号議案：2023年度会計収支予算(案)承認の件

以上

貸借対照表

2022年（令和4年）11月30日現在

金額単位：円

科 目		科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	5,455,923	未払金	0
未収金	0	預り金	0
		仮受金	43,000
流動資産合計	5,455,923	流動負債合計	43,000
		III 正味財産の部	
		1. 一般正味財産	5,412,923
		(うち事業活動積立金)	(2,935,168)
		正味財産合計	5,412,923
資産合計	5,455,923	負債および正味財産合計	5,455,923

財 産 目 録

2022年（令和4年）11月30日現在

金額単位：円

I 資産の部

1	流動資産		
	現金預金		5,455,923
	現金	120,391	
	普通預金（三菱UFJ銀行・虎ノ門支店）	5,220,639	
	振替貯金（ゆうちょ銀行）	114,893	
	資産合計		5,455,923

II 負債の部

1	流動負債		
	預り金		0
	総会礼拝献金	0	
	仮受金		43,000
	2023年度会費	43,000	
	負債合計		43,000

III 正味財産の部

1	一般正味財産		
	次期繰越収支差額金		5,412,923
	うち事業活動積立金	(2,935,168)	
	正味財産合計		5,412,923

収支計算書

2022年度(令和4年度)

(自:2021年(令和3年)12月1日 ~ 至:2022年(令和4年)11月30日)

2022年(令和4年)11月30日現在

単位:円

勘定科目	予算額	決算額	差異	備考
大科目小科目				
I事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1. 会費収入	820,000	684,000	△ 136,000	
正会員会費収入	700,000	570,000	△ 130,000	個人会費 5,000× 114 件
賛助会員会費収入	120,000	114,000	△ 6,000	賛助会費 3,000× 38 件
2. 事業収益	1,625,000	600,310	△ 1,024,690	
各種活動収入	1,025,000	0	△ 1,025,000	青少年キャンプ,セミナー,研修旅行参加費等収入
広告収入	500,000	433,000	△ 67,000	機関誌掲載広告収入
諸頒布収入	100,000	167,310	67,310	叢書販売収入,印刷物頒布収入
3. 受取寄付金	100,000	787,200	687,200	
寄付金収入	100,000	787,200	687,200	各種事業に係る寄付金収入
4. 雑収入	600,000	622,040	22,040	
雑収入	600,000	622,000	22,000	キ-7 事務所負担金等
受取利息	0	40	40	預金利息等
事業活動収入計(A)	3,145,000	2,693,550	△ 451,450	
2. 事業活動支出			0	
1. 事業費支出	2,580,000	1,157,712	△ 1,422,288	
各種援助金	100,000	0	△ 100,000	支部活動援助費・災害支援金
各種活動費	1,580,000	320,289	△ 1,259,711	各種会合研修費・叢書発行費他
文書活動費	900,000	837,423	△ 62,577	機関誌発行(年4回)
給与手当	0	0	0	事業関連業務アルバイト代(2018.2月終了)
旅費交通費	0	0	0	事業活動交通費他
通信運搬費	0	0	0	事業活動電話料,切手代,郵送代,其の他
消耗品費	0	0	0	事業活動関連事務用品,パソコン,消耗品代他
印刷製本費	0	0	0	その他印刷並びにコピー代
渉外費	0	0	0	事業関連慶弔費並びに記念品代,一般渉外費
雑費	0	0	0	事業関連諸雑費
2. 管理費支出	865,000	821,372	△ 43,628	
役員報酬	0	0	0	無報酬
給与手当	0	0	0	無報酬
旅費交通費	330,000	243,400	△ 86,600	一般交通費・交通費補助(理事会等)
通信運搬費	70,000	54,752	△ 15,248	電話料,切手代,郵送代,其の他
什器備品費	25,000	0	△ 25,000	プリンター購入代
消耗品費	70,000	77,793	7,793	管理関連事務用品,一般消耗品代他
印刷製本費	20,000	5,380	△ 14,620	一般印刷並びにコピー代
会議費	10,000	66,736	56,736	一般会議(理事会等)打合せ,会合費,
修繕費	10,000	0	△ 10,000	事務機器等修理代
渉外費	100,000	55,000	△ 45,000	慶弔費並びに記念品代,一般渉外費
特別献金	120,000	120,000	0	日本聖公会東京教区献金
支払手数料	30,000	22,311	△ 7,689	郵便振替手数料他手数料
雑費	80,000	176,000	96,000	一般諸雑費,聖公会手帳広告費
事業活動支出合計(B)	3,445,000	1,979,084	△ 1,465,916	
当期収支差額(A)-(B)	△ 300,000	714,466	1,014,466	
前期繰越収支差額	3,626,053	4,698,457	1,072,404	
資金取崩収入	0	0	0	
次期繰越収支差額	3,326,053	5,412,923	2,086,870	

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会
会長 足立 征三郎 殿

私たち監事は、一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会の2022年度(2021年12月1日から2022年11月30日)における業務及び会計の監査を行い、次の通りご報告致します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査について、理事会に出席し、理事から業務の執行状況についての報告等を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務の妥当性を検討致しました。
- (2) 会計監査について、2023年1月19日に法人本部に於いて、会計帳簿並びに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討致しました。

2. 監査の結果

- (1) 「事業活動報告」は、法令及び定款に従い、法人の業務運営状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務執行に関し、不正の行為又は、法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 会計関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

2023年1月19日

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

監 事 早川 潔 ⑩

監 事 永井 惇 ⑩

2022年度当期余剰金処分（案）

前期繰越余剰金（収支差額金）	4,698,457円
<u>当期収支余剰金</u>	<u>714,466円</u>
次期繰越収支差額金	5,412,923円

上記の通り処分いたします。

2022年度の決算報告は以上の通りです。

2023年2月25日

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会
会長 足立 征三郎